

少子化が進む本市において中学校の教育環境を保持、向上するために学区の見直しの必要性を考える。

平成の中学校統合

平成28年度に陶中学校と稲津中学校が統合し、瑞浪南中学校が開校。

令和元年度に瑞陵中学校、釜戸中学校、日吉中学校が統合し、瑞浪北中学校が開校。

瑞浪中学校はそのまま継続で市内は3中学校となった。

今後の経緯

瑞浪南中学校(陶、稲津)の入学者は、令和11年度には35人、12年度には29人が予測され、35人以下の単学級になる可能性がある。令和11年度以降瑞浪南中学校に入学予定の生徒が35人を割り、単学級になるという見込みと中学校統合の経緯を踏まえると、今後の中学校の在り方について検討する必要が出てきた。

瑞浪市内の各地区各学校の現状と今後の見通しを踏まえ、本市と同様に少子化の課題を抱えている県内市町村の学区の見直しや学校統合等の成果及び課題を参考にし、加えて地域住民や保護者、さらには児童生徒の意見も丁寧に聞き取りながら学区の見直しを進めていくべきである。

今後の課題

令和13年度以降、瑞浪南中学校(陶・稲津)は各学年単学級で全校3学級になる見通しで、100名を切る可能性がある。

〈令和3年4月1日現在 市内在籍児童生徒数等〉

	小学校	中学校	小中合計
児童生徒数	1,706	834	2,540
通常学級数	67	27	94
特別支援学級数	16	6	22

〈令和3年9月1日現在 小学校別の今後の入学児童見込み数の推移〉

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
瑞浪	140	131	125	130	127	117	131
土岐	50	52	46	45	44	40	40
明世	29	28	43	28	39	26	24
釜戸	13	13	6	4	12	10	9
日吉	8	14	8	5	12	7	3
陶	11	14	8	7	8	6	11
稲津	31	27	27	22	17	22	19
合計	282	279	263	241	259	228	237



令和元年開校の瑞浪北中学校



日吉中学校の閉校式